

# 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会 食品衛生バイオテクノロジー部会議事次第

日時：平成15年6月12日（木）11:00～12:00

場所：厚生労働省 5階 共用第7会議室

## 議 題

1. 組換え DNA 技術を応用した食品の安全性審査について
  - 安全性の審査を経た旨の公表がなされた品種同士を掛け合わせた品種に係る安全性審査について
2. その他

## 配付資料

資料1 部会委員名簿

資料2 諮問書写（平成15年5月30日付厚生労働省発食第0530003号）

資料3

- 3-1 安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 を掛け合わせた品種に係る調査会報告書
- 3-2 安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 を掛け合わせた品種に係る調査会報告書
- 3-3 安全性の審査を経た旨の公表がなされた鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種に係る調査会報告書
- 3-4 安全性の審査を経た旨の公表がなされた鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統を掛け合わせた品種に係る調査会報告書
- 3-5 安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガード・ワタ 531 系統を掛け合わせた品種に係る調査会報告書
- 3-6 安全性の審査を経た旨の公表がなされた T25 と MON810 を掛け合わせた品種に係る調査会報告書

<参考資料>

参考資料1 (親品種の概要)

- 1-1 ラウンドアップ・レディー・トゥモロコシ GA21 系統及び MON810 の概要
- 1-2 ラウンドアップ・レディー・トゥモロコシ NK603 系統及び MON810 の概要
- 1-3 鞘翅目害虫抵抗性 トウモロコシ MON863 系統及びラウンドアップ・レディー・  
トウモロコシ NK603 系統の概要
- 1-4 鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統及びラウンドアップ・レディー・ワタ 1445  
系統の概要
- 1-5 ラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統及びインガード・ワタ 531 系統の  
概要
- 1-6 T25 及び MON810 の概要

参考資料2 安全性審査の経た遺伝子組換え食品及び添加物一覧

参考資料3 平成9年12月3日付食調第84号食品衛生調査会意見具申  
「後代交配種の取扱いについて」

参考資料4 バイオテクノロジーと食品の安全性に関する FAO/WHO 合同専門家会議  
報告書(1996年10月) 抜粋

参考資料5 亜種について

参考資料6 組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続(抜粋)

参考資料7 組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続の一部を改正  
する件について

## 食品衛生バイオテクノロジー部会委員名簿

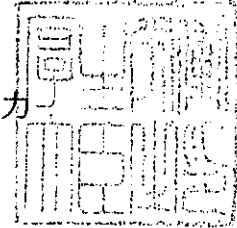
(平成 15 年 5 月現在)

No.	氏名	フリガナ	現職
1	糸川 嘉則	イトカ ヨシノリ	福井県立大学看護福祉学研究科教授、研究科長
2	海老塚 豊	エビヅカ ユカ	東京大学大学院薬学系研究科教授
3	彼谷 邦光	カヤ クニミツ	東北大学大学院環境科学研究科教授
4	澤田 純一	サワダ ジュンイチ	国立医薬品食品衛生研究所機能生化学部長
5	塩見 一雄	シオミ カズオ	東京水産大学教授
6	清水 誠	シズ マコト	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
7	田中 平三	タナカ ヘイゾウ	独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長
8	寺尾 允男	テラオ タダオ	(財)日本公定書協会会長
9	早川 堯夫	ハヤカリ タカオ	国立医薬品食品衛生研究所副所長
10	米谷 民雄	マイタニ タミオ	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
11	宮城島 一明	ミヤキシマ カズアキ	京都大学大学院医学研究科助教授
12	山添 康	ヤマゾエ ヤスシ	東北大学薬学部教授

厚生労働省発食第0530003号  
平成15年5月30日

薬事・食品衛生審議会  
会長 寺尾 允男 殿

厚生労働大臣 坂口 力



諮 問 書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第7条第1項の規定に基づく「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年12月厚生省告示第370号）の規定に基づき定められた「組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続」（平成12年5月厚生省告示第233号）第3条の規定に基づき、下記の食品の安全性審査を行うに当たり、貴会の意見を求めます。

記

申請者：日本モンサント株式会社

- 品 種：1. ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 を掛け合わせた品種
2. ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 を掛け合わせた品種
3. 鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種
4. 鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統を掛け合わせた品種
5. ラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガード・ワタ 531 系統を掛け合わせた品種

申請者：デュポン株式会社

品 種：T25 と MON810 を掛け合わせた品種

安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・  
トウモロコシ GA21 系統と MON810 を掛け合わせた品種に係る  
調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前のラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 については、それぞれ安全性の審査の手続は既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、除草剤（グリホサート）耐性、鱗翅目害虫抵抗性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれもデント種のとうもろこし (*Zea mays* L.) 同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
とうもろこし (ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ GA21 系統と MON810 を掛け合わせた品種)	除草剤 (グリホサート) 耐性 鱗翅目害虫抵抗性	日本モンサント株式会社

安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・  
トウモロコシ NK603 系統と MON810 を掛け合わせた品種に係る  
調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前のラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 については、それぞれ安全性の審査の手続は既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、除草剤（グリホサート）耐性、鱗翅目害虫抵抗性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれもデント種のとうもろこし（*Zea mays* L.）同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
とうもろこし（ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統と MON810 を掛け合わせた品種）	除草剤（グリホサート）耐性 鱗翅目害虫抵抗性	日本モンサント株式会社

安全性の審査を経た旨の公表がなされた鞘翅目害虫抵抗性  
トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・  
トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種に係る調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされた鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前の鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統については、それぞれ安全性の審査の手続は既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① 鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、鞘翅目害虫（コーンルートワーム等）抵抗性、除草剤（グリホサート）耐性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれもデント種のとうもろこし (*Zea mays* L.) 同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
とうもろこし(鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種)	鞘翅目害虫抵抗性 除草剤（グリホサート） 耐性	日本モンサント株式会社

安全性の審査を経た旨の公表がなされた鱗翅目害虫抵抗性ワタ  
15985 系統及びラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統  
を掛け合わせた品種に係る調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされた鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前の鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統については、それぞれ安全性の審査の手続は既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① 鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、鱗翅目害虫（オオタバコガ、ヨトウムシ等）抵抗性、除草剤（グリホサート）耐性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれも *Gossypium hirsutum* 種に属するワタ同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
わた（鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985 系統とラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統を掛け合わせた品種）	鱗翅目害虫抵抗性 除草剤（グリホサート） 耐性	日本モンサント株式会社



安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・  
レディー・ワタ 1445 系統及びインガード・ワタ 531 系統  
を掛け合わせた品種に係る調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされたラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガードワタ 531 系統を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前のラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガードワタ 531 系統については、それぞれ安全性の審査の手続は既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① ラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガードワタ 531 系統を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、除草剤（グリホサート）耐性、鱗翅目害虫（オオタバコガ等）抵抗性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれも *Gossypium hirsutum* 種に属するワタ同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、ラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガードワタ 531 系統の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
わた（ラウンドアップ・レディー・ワタ 1445 系統とインガードワタ 531 系統を掛け合わせた品種）	除草剤（グリホサート）耐性 鱗翅目害虫抵抗性	日本モンサント株式会社

## 安全性の審査を経た旨の公表がなされた T25 及び MON810 を掛け合わせた品種に係る調査会報告書

安全性の審査を経た旨の公表がなされたとうもろこし T25 と MON810 を、伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

本調査会においては、掛け合わせる前の T25 と MON810 については、それぞれ安全性の審査の手続きは既に終了しており、いずれも人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断されていることを踏まえ、申請者から提出された資料に基づき、以下の項目について検討・確認した。

- ① とうもろこし T25 と MON810 を掛け合わせた品種については、組換え DNA 技術により新たに獲得された、除草剤（グルホシネート）耐性、鱗翅目害虫（アワノメイガ等）抵抗性のそれぞれの性質がいずれも変化していないことが確認された。
- ② 掛け合わせた品種は、いずれもデント種のとうもろこし（*Zea mays* L.）同士の掛け合わせであり、亜種間で掛け合わせたものではない。
- ③ 掛け合わせた品種についても、摂取量、食用部位、加工法等については変更ないと考えられる。

以上の結果から、とうもろこし T25 と MON810 の掛け合わせ品種については、人の健康を損なうおそれがあると認められないと判断される。

品 種	性 質	申請者
とうもろこし (T25 と MON810 を 掛け合わせた品種)	除草剤 (グルホシネート) 耐性 鱗翅目害虫抵抗性	デュポン株式会社